



「蒼（あお）」あじさいの部 銀賞  
三鷹市 北野 修



## 慈悲のお叱りに守られて

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉 田 純 一

新緑の美しい季節を迎え、当山の境内も生命力に満ちあふれております。今年度、お不動さまに新たな職員が加わりました。その初々しい姿を見ると、ふと私自身の遠い新人時代が鮮やかによみがえってまいります。

私がお不動さまにお仕えるようになってから、早いもので五十年を越える月日が流れました。当時の山内は今ほど忙しくなく、僧侶と事務職員を合わせても十数人ほど。正月や節分、毎月二十八日の縁日や土日が忙しいくらいで、あとはゆつくりと寺務がこなせる毎日でした。

そんなのどかな時代にあつて、今も深く胸に刻まれているのは、先々代の秋山僧正からいただいた厳しいお叱りの記憶です。

二十代の頃、母の実家の寺で若くして亡くなった先代住職（私からすれば叔父にあたります）の法事がありました。導師は秋山僧正、そして一番若輩の私は法要で「奠供」（法要の最初に大日如来の徳をたたえる梵語の詩）を唱える役を与えられました。しかし法要後、僧正から「あの奠供はなんだ！」と皆の前で大声で厳しく叱責されました。

またある日には、護摩導師を勤めることのできる役僧がおらず、自分が勝手に差配してお護摩の法要を行ったことが僧正に知られ、この時も大変厳しくお叱りを受けました。当時はただ恐縮するばかりでしたが、これらのお叱りこそが私の僧侶としての骨格を作ってくれたのだと、今にして強く実感いたしています。

私たちをお守りくださるお不動さまが恐ろしいお怒りの姿（忿怒相）をされているのは、迷える衆生を力づくでも正しい道へ導くという、深い「慈悲」の表れです。先々代の厳烈なお叱りもまた、未熟な私を一人前に育てようとするお不動さまの御心のようであつたと、今では深く感謝いたしております。失敗を重ね、叱られながら磨かれていくことこそが、尊い仏道修行にほかなりません。新入職員もまた、お不動さまの大きな御心に守られ、焦らず一歩ずつ歩んでほしいと願っております。檀信徒の皆様におかれましても、どうか温かく、時には厳しく、当山の新しき息吹を見守っていただければ幸いです。

# 八葉会館・寺務局再建工事資金ご寄進のお願い

新客殿の名称が  
「八葉会館」に決まりました



当山では客殿の老朽化に伴い、ご参拝の皆様のご安全と利便性を高めるため、長年の懸案でございました新客殿・寺務局再建工事を発願、令和七年春から着工致しました。皆様には事業成満のため絶大なる御信援・御協賛を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。合掌

## 工 事 概 要

工事名称…新客殿・寺務局再建工事  
工事期間…令和七年四月一日～

令和九年三月三十一日

設計監理…株式会社文化財工学研究所

施 工…株式会社藤木工務店東京支店

建物概要…地上三階・鉄骨造・エレベーター完備

建物規模…延床面積 八六九・二四坪

建築面積 三三三・三一坪

主要構成…一階 寺務室・製札作業室・厨房

二階 大広間・多目的洋間・会議室

三階 貴賓室・教学研究所・会議室

事業費…三〇億円

落慶法要…令和九年秋

工事資金勸募…

令和九年三月三十一日まで

一口 一〇、〇〇〇円(何口でも可)

お振込みの方は さわやか信用金庫高幡不動支店(022)

普通預金 No.0383288

宗教法人金剛寺 代表役員 杉田純一

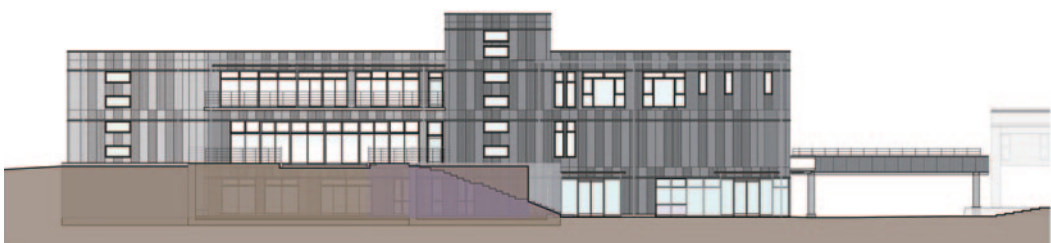
※ご寄進に合わせて申込用紙を記入いただきご提出をお願い致します。ご希望の方には申込用紙をお送り致します。



東側立面図



東側玄関唐破風



南側立面図

廣澤隆之先生の「お不動さまの心」はお休み致します。



高幡不動尊  
フオトニュース



機動警察パトレイバー見参 4/6



お稚児さんのお練り 4/28



江戸消防記念会の皆様による木遣奉納 4/28



高幡山遍照講による詠歌奉詠～花まつり法要 4/8



日野市のさくら標本木が変わりました 3/26



階段を慎重に登るお神輿 4/29



お札のお加持～千体地藏尊総回向大法要 4/29



お稚児さんに変身中 4/28



新選組隊士慰霊法要 5/9



高幡山遍照講のお稽古風景 4/17



心を込めて「おみがき」 4/24



客殿建設工事の進捗状況 4/24



お返しいただいたお札等のお焚き上げ 5/15

# 夏の行事案内 (六月～八月)

## ◇六月

○1日(月) ～ 30日(火) 高幡不動尊あじさいまつり  
 ○13日(土)・14日(日) 高幡写仏会 講師 牧 宥恵先生 (下段参照)

○14日(日) フリーマーケット  
 ○15日(月) 青葉まつり(弘法大師・興教大師)ご生誕慶祝法要  
 於 大日堂午後一時より

法話 講師 川崎大師平間寺教学課  
 川崎大師教学研究所研究員  
 那須烏山市 西方寺御住職  
 佐竹 隆信先生

○15日(月) お焚き上げ(午前九時) 演題 「戒律のすすめ」  
 ○21日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)  
 ○21日(日) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶  
 ○24日(水) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶  
 ○28日(日) 月例祭(ご縁日)

## ◇七月

○12日(日) フリーマーケット  
 ○15日(水) 孟蘭盆会法要(午前六時)  
 ○19日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)  
 ○21日(火) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶  
 ○24日(金) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶  
 ○28日(火) 月例祭(ご縁日)

## ◇八月

○15日(土) 孟蘭盆会大施餓鬼法要(午後一時) 法話 講師 赤坂不動尊威徳寺副住職 飯島 隆貴先生  
 演題 「祈ること。供養すること。」

○16日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)  
 ○21日(金) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶  
 ○24日(月) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶  
 ○28日(金) 月例祭(ご縁日)

# 高幡写仏会のお知らせ

自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、その後、御本尊不動明王に奉納する写仏会です。

当山では年二回(あじさいまつり・もみじまつりの会期中)写仏布教の第一人者、画僧牧宥恵師を招いて開催しています。写仏前の御法話も人気があります。是非この機会に御参加いただき、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊不動明王のご加護を授け下さい。

記

日時 六月十三日(土)・十四日(日)  
 午後一時～午後四時(受付 正午より)

会場 五重塔千体地藏堂(両日共、牧宥恵師の作品を展示します)

内容 午後一時 法話  
 午後二時 写仏  
 午後四時 写仏奉納大護摩修行

会費 弍千円(材料費含む)  
 会費 弍千円(材料費含む)

◇お申込み・高幡不動尊事務局まで  
 電話 ○四二―五九一―〇〇三二



「制吒迦童子・矜羯羅童子」  
 牧宥恵先生ご染筆の写仏お手本

# 山内八十八ヶ所

## 巡りクイズ

多摩丘陵の一角を占める高幡不動尊、三万坪余りの境内は千古の緑に包まれ四季折々の花木を楽しむことができます。裏山には明治四十二年開設の山内八十八ヶ所の弘法大師像がまつられており森林浴を兼ねてのお参りは約一時間。あじさいまつり期間中巡拝路沿いに十問のクイズが出され、毎年大勢の方がクイズを楽しみながら参拝されます。解答用紙は、不動堂前、五重塔外階段下、大日堂、大師堂、交通安全祈願受付所、山内八十八ヶ所一番札所に置いてあります。解答は事務局か宝輪閣受付へお持ち下さい。尚、正解者の中から抽選で一五〇名の方に賞品を差し上げます。



### あじさいまつり諸行事案内 (六月一日～三十日)

- 山内八十八ヶ所巡りクイズの会……………(毎日)
- 奥殿特別寺宝展及び鳴り龍拝観……………(毎日)
- 高幡写仏会……………六月十三日(土)・十四日(日)
- リサイクル・フリーマーケット(雨天中止)……………六月十四日(日)
- 青葉まつり(両祖大師ご生誕慶祝法要)……………六月十五日(月)
- ござれ市(がらくた市)……………六月二十一日(日)
- 月例写経会(山内僧侶法話午後一時三十分より)……………六月二十一日(日)
- 千体地藏尊月例法要……………六月二十四日(水)
- ご縁日……………六月二十八日(日)

### あじさいまつり写真コンクール作品募集

テーマ①あじさいの部…令和八年のあじさいまつり期間中の高幡不動尊及び

び門前町の行事・風物や、あじさい等の作品

②四季の部……………令和七年七月以降の高幡不動尊及び門前町の四季の風物、行事等の作品

サイズ カラープリント「六ツ切以上四ツ切迄・ワイド可・A4・A3」

締 切 令和八年六月三十日(火) 必着

応募規定①期間中に撮影の自作品(未発表のもの)

②作品ごとに応募票を貼付 ③資格は高校生以上

④作品に関する肖像権は応募者本人の責任となります。

尚、応募作品は原則として返却致しません。

入選発表 八月上旬に郵便でお知らせ致します。

※本年の表彰式は客殿建設工事の為中止させていただきます。

### あじさいまつり俳句・短歌大会作品募集

兼題 高幡不動尊境内及び門前町の四季囀り作品(未発表作品に限る)  
応募 一組 二句又は二首(一人何組でも可)

用紙 規定の用紙又は二〇〇字詰め原稿用紙(B5版)使用のこと。  
入花料 投稿時納入 俳句・短歌とも一組二〇〇〇円 (但し記念大会参加料を含む)

投稿先 〒一九一〇〇三二

日野市高幡七三三 高幡不動尊あじさいまつり事務局宛

締切 令和八年七月一日(水)まで(当日必着)

選者(肩書等略・五十音順)

俳句 大竹多可志・才野 洋・笹木 弘・鳥居真里子・暮目良雨

福神規子・星野高士の諸先生

短歌 狩野一男・長澤ちづ・森本 平の諸先生

掲出 入選作品は九月末日まで宝輪閣に掲出する。

※本年は表彰式及び記念大会は客殿・寺務局棟建設工事の為中止させていただきます。



「紫陽花を撮る」 あじさいの部 銅賞  
日野市 羽賀 道行



「秋影の彩り」 四季の部 銅賞  
八王子市 渡辺 一博

あじさいまつり御守

開運御守

一体一、〇〇〇円



健康御守

一体七〇〇円



紫陽花不動香発売

一箱一、五〇〇円(六・七月限定)



清浄塗香

五〇〇円



塗香とは身を清める為に塗るお香で、お護摩修行の際にお授けしているものです。



あじさいまつり参拝

切絵ご朱印

五月二十八日から、あじさいまつり参拝の切絵ご朱印を授与致します。

数量限定の特別ご朱印ですので、参拝の証としてお受けいただくことをおすすめします。

※寺務局のご朱印所(五重塔地階)にてお授けします。混雑が予想されますので、時間に余裕を持ってお越し下さい。

※一体一、〇〇〇円



# 境内の夏の植物をお楽しみ下さい



アカメガシワ



イボタノキ



イモカタバミ



オオバギボウシ



オオムラサキツクサ



オニユリ



カナメモチ



ガmazumi



キツネノカミソリ



クズ



コムラサキ



サルスベリ



シャリンバイ



タカサゴユリ



ツルボ



テイカカヅラ



ヌスビトハギ



ネムノキ



ハギ



ハス



ヒオウギ



ヤブミョウガ



ヤマユリ



ユキノシタ

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。(敬称をすべて省略させていただきます)

境内整備緑化資金

寄進者芳名

(令和八年二月一日～四月三十日)

府中市 青木裕吉

幟旗奉納者芳名

(令和八年一月一日～四月三十日)

- 藤岡市 たらや本舗有限公司
- 藤岡市 齊藤詠子
- 世田谷区 寺内香織
- 豊島区 神田しのぶ
- 清瀬市 沖山順子
- 昭島市 五十嵐虎孫
- 日野市 須崎芳江
- 日野市 須崎雅弘
- 日野市 有泉雅光
- 日野市 岡村雅光
- 日野市 安川武雄
- 日野市 栢谷文雄
- 日野市 岡田加代子

2本



「ござれ市の日」あじさいの部 銅賞  
八王子市 山本 鈍海



御朱印袋 1800円

お不動様の御朱印帳と同じ  
絵柄で黒地にお不動様のお姿  
が織り込まれています。



お不動様の御姿  
御朱印帳

1冊 1800円



青葉まつり記念法話

- 日時 六月十五日(月) 午後一時から
- 会場 大日堂(聴講無料)
- 講師 川崎大師平間寺教学課  
川崎大師教学研究所研究員  
那須烏山市 西方寺御住職  
佐竹隆信 先生

・演題

「戒律のすすめ」



大施餓鬼会記念法話

- 日時 八月十五日(土) 午後一時から
- 会場 大日堂(聴講無料)
- 講師 赤坂不動尊威徳寺副住職  
飯島隆貴 先生

・演題

「祈ること。」

「供養すること。」



山内消息

龍華会 多摩八十八ヶ所

巡拝はじまる

本年も多摩八十八ヶ所巡拝が四月より始まりました。多摩地域の真言宗寺院八十八霊場を四月から順に参拝し、十月に結願を迎えます。巡拝団は総勢三十名で、先達をお勤めいただくのは、八十四番札所普門寺の川澄祐英先生、六十四番札所西蓮寺の薬師寺宏亮先生、八十八番札所金剛寺より佐竹がご一緒します。安



花御堂にて灌仏（花まつり）

全を第一に、お大師様と共に半年七日間のお遍路に行つて参ります。（佐竹智記）

パトレイバー登場（4/5）

日野警察署、日野交通安全協会の春の全国交通安全運動が開催され、人気漫画・アニメ作品「機動警察パトレイバー」の実写映画版撮影にも使用された高さ十メートルの実物大ロボット「インگرام」が境内に登場しました。

大型特殊運搬車両の上でデッキアップされ立ち上がると不動堂、五重塔と並ぶ姿に、集まった大勢の方から歓声があがりました。

（柳原記）

花まつり

今年の花まつりは、四月四日〜八日までの期間で行われました。日々多くの方々が花御堂にご安置されたお釈迦様に甘茶を灌ぎ、その御徳を偲ばれました。八日には十一時より不動堂正面の花御堂にて法要を執り行い、晴天のもと、色鮮やかな花々に囲まれつつ、参列した多くの皆様と共にお釈迦様の御誕生をお祝いしました。（津守記）

第二十九回新選組まつり

五月九日(土)、十日(日)の二日間には「第二十九回ひの新選組まつり」が開催されました。

九日には新選組隊士コンテスト、十日には新選組パレードが市内で行われ、その他にも人気アニメ「青のミプロ」とのコラボ企画など、さまざまなイベントが実施されました。両日とも天候に恵まれ、境内は多くの方々と賑わい、大変盛況なおまつりとなりました。（清水順記）

御詠歌始めませんか

「密厳流御詠歌」講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、青葉まつり・大施餓鬼会などの法要でお唱えます。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますので、大勢様ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名 称 遍照講高幡山支部
- 一、参加資格 どなたでもご参加いただけます
- 一、指 導 密厳流遍照講師範
- 一、会 費 一ヶ月 三、〇〇〇円

（但し、鈴・鉦などの道具は別費）

一、稽古日時 月二〜三回 午前十時〜十二時  
一、問い合わせ先 高幡不動尊内「遍照講高幡山支部」

電話 〇四二五九一〇〇三二

多摩八十八ヶ所巡拝結願記念法話

日時 十月二十一日(水) 午前十時三十分  
会場 不動堂(聴講無料)

講師 多摩八十八ヶ所第七十二番札所 萬福寺御住職



南清晋介 先生

・演題

「仏様との出会いと

御縁」

南無や五如来、  
その利益  
むさぼるころ、  
除かれて  
福徳智慧を  
円満し  
身心共に  
晴れやかに  
受ける施食も  
恐れなし

「施餓鬼供養和讃」

# 諸行事に参加して

## 稚児行列 (4/28)

日野市 長島 鈴

初めての参加でしたが、本人もとても楽しみにしていたので、この機会に参加できてとても貴重な体験でした。ありがとうございました。

日野市 高橋 怜奈

お化粧やお衣装なども初めてで、とても素敵な体験となりました。楽しかったです。

八王子市 穴戸 明理

良いお天気の下、楽しく参加させていただきました。孫の稚児姿に感激しました。



ご前様と記念撮影

昭島市 松田 楓鈴

皆様お優しくしていただき、大変良い思い出になりました。ありがとうございました。

渋谷区 小池 果咲

良く晴れた日に貴重な体験ができ、とても良かったです。衣装もメイクも可愛く、家族にとって良い思い出ができました。

今回は娘が参加しましたが、息子もお世話になりました。と思います。

## 千体地藏尊

### 総回向法要 (4/29)

相模原市 竹越 フサ

昭和三十四年、日野市豊田にて新生活をはじめ、六十年お不動様とのお縁を頂いております。今は津久井に住み五十年、故人となった主人の地藏供養で又ご縁を頂き、大提灯も奉納させて頂き、遠くになりましたが、健康である限り足を運びご縁を繋いでいきます。よろしくお願ひ致します。



千体地藏尊総回向法要

国分寺市 寺西 敦

お地藏様を奉納し、昨年から大法要に参加させて頂くようになった。法要の終わつたあとの心の安らぎは何とも言えません。ありがとうございます。

ございました。

日野市 児玉 幸彦

私は昭和四十年代から日野市在住です。お正月に高幡不動尊にお詣りするのが家族の年中行事の事始めになりました。千体地藏尊の寄進は結構早い時期でした。いつも拝める場所だったので嬉しかったです。改築され、お地藏様の安置図が送られた時には驚愕。御本尊のお地藏様の右横最上段でした。以来ご縁の深さに感激しております。

八王子市 福島加津実  
毎年、家族揃って千体地藏

尊の法要に参加しています。家族が元気で、健康な姿で今年もお参りに来ることができて大変幸せに思っております。世界情勢が整い、みんなが安心して幸せに暮らせることを祈っております。本日は、そのような想いを込めてお参り致しました。

日野市 五十嵐直美

絶え間無く幸せを願い、祈って頂き有難う御座います。伝統的な悠久の時の流れの中で、ほんの一瞬でも共に祈れる事に感謝しかありません。支え続けて下さり有難う御座います。

## 「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」

平成四年に出版された「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」を再編したものです。お大師様の信仰を深め八十八ヶ所巡拝をされてはいかがでしょうか。



一部 1,000円

※ご希望の方には郵送致します。

電話 〇四二五九一〇〇三二

龍華会まで

# 奥殿だより 第十六回

不思議な絵師 田公実 (その四)

(承前)

前回、昨年新発見された當山の不動三尊の素描の紹介をしました。その話の中で、素描を基に作成されたであろう不動明王及二童子像が発見されていないと記しましたが、その後の整理作業の中で、確認する事が出来ましたので、紹介させて頂きま

す。左掲の写真のとおり落款がなく、作者不詳として扱われておりました。また、弘法大

師像、星曼荼羅、地藏菩薩像、芝山仁王尊像等の田公実の仏画類は、明治二十年等に作成の什器帳に「寄附主賢雅」(當山第二十九世)として記載されておりま

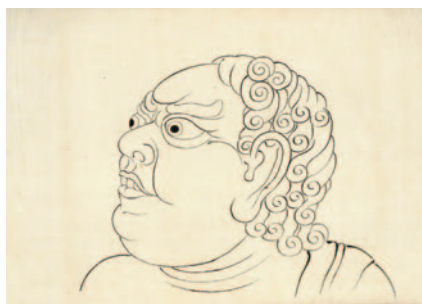
す。しかし、この作品は什器帳に未記載であります。まず本作品が前回紹介の素描とよく似ていること

です。芝山仁王尊像の場合もそうですが、素描と作品との間には若干の相違は見られ、素描を基に作品を仕上げていることは間違いないでしょう。

鮮やかな色使いも田公実の他の仏画、十王図等と同様



不動明王及二童子像 田公実筆



であり、使用されている絹布も同様のものであります。



田公実の素描に墨彩や淡彩を施し試しながら、作品を仕上げたのでし

ょう。作品の中央上部には梵字の御朱印が押されておりま

す。賢雅和上が押したものでしょうか。田公実の秀作と言える新発見の不動明王及二童子像は、六月九日より九月下旬乃至十月初めに実施予定の次の展示替えまで、奥殿で展示する予定です。この機会には是非ご覧下さい。

(藤井和夫記)

# 高幡いきもの曼茶羅

35

今回は少し視点を変えて以前から疑問に思っていた事をお話したいと思います。当コラムのお隣のページに「奥殿だより」が掲載されていますが、今まさに高幡不動尊ゆかりの絵師である田公実が取り上げられています。当山にも田公実の描く花鳥風月の作品が何点もあり、もちろん「鳥」の絵もあります。しかし多くの日本画同様に「鳥」が何故か実際とはかけ離れた姿で描かれることが多いのです。これは特に日本画にみられる「気韻生動」則ち技術よりも品格や伝統を重んじる傾向故であり、公実の絵もその例外ではありません。写真よりも対象の本質を表現の中心とする東洋的な気風です。極論になりますが洋の東西における音律と音階の違いに近いのかも知れません。

さてここで田公実の「オナガ」と「ウグイス」と実際に高幡不動尊の境内で撮影した「オナガ」と「ウグイス」を比較してみよう。もちろん無粋なことは百も承知ですが、公実の描くオナガは実際よりも色鮮やかで、クジャクと見紛うばかりの尻尾の模様など、



オナガ(部分) 田公実筆



ウグイス(部分) 田公実筆



オナガ



ウグイス

キャラクターとしてのオナガが表現されています。色彩とフォルムの見事さを見る者に非常に強い印象を与えます。ウグイスの絵も同様に写真というよりも先人の画家から受け継いだ「梅と鶯」のスタイルに忠実であろうとしていように感じます。しかし言語を越えた表現の力は仏画にこそ公実の本質が現れるのかも知れません。仏像は人知を超えた宗教的思想の表現であり、仏画はより高みを目指した田公実の着地点なのです。

## なにげなくつかっている仏教のことば——宿命(しゆくみよう・しゆくめい)

日常で「宿命」といえば、避けられない巡り合わせや抗いがたい運命を意味します。「それが彼の宿命だった」という言葉には、逆らうことのできない必然性を帯びます。

仏教ではこれを「しゆくみよ

う」と読み、過去世(前世)における境涯や人生そのものを指しました。仏が備える特別な十種の能力の一つに、自身と他者の過去世を自在に知る「宿命随念智力(宿命智通)」が挙げられるように、元来は過去の

状態を指す言葉だったのでこの仏典用語が、やがて「前世の因縁によって定められた、現世での逃れられない宿命」という現在の意味へと変遷していったと考えられます。(小林靖典)

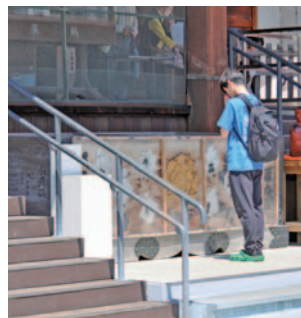
## お不動さま教えて?

ご質問 お不動さまにお参りするときに、多くの人がごく自然にお賽銭を入れています。しかし、ふと思いました。お賽銭とは、いったいどのような意味があるのでしょうか。お願いごとをかなえていただくためのお礼でしょうか。それとも、願いを聞いていただくためのものなのでしょうか。どうかお不動さま、教えてください。

お答え

はい、お答えいたします。

お参りの際、何気なくお賽銭を入れるそのお姿、お不動さまも温かく見守っておられます。しかし「なぜ？」と改めて考えると、意外に奥が深いものです。まず大切なお話です。お賽銭は、お願いごとの「代金」ではありません。



お不動さまは、私たちの迷いを断ち切り、正しい道へ導いてくださる仏さまです。お賽銭を投じるその瞬間は、実は自分の中に

ある「欲」や「執着」をパッと手放す瞬間でもあります。そこで、「いつもお守りいただき、ありがとうございます」

この感謝の一言を添えて手を合わせれば、その一礼はより深くお不動さまと響き合い、あなたを支える大きな力となることでしょう。

また、お賽銭は仏教の修行の一つである「布施」でもありません。布施において大切なのは、「三輪清浄」という教えです。「施す人」と「受ける相手」と「施すもの」の三つに執着せず、ただ清らかな心で差し出し、受け取る。それは、お母さんが見返りを求めることなく赤ちゃんにお乳を与え、赤ちゃんもまたごく自然にお乳を受け取る、無垢で尊い行為です。

献花のおすすめ

### お花講 講師の募集

当山ではお花講講師の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。大勢様ご入講下さいませようご案内申し上げます。

記

一、名 称 高幡山お花講

一、会 費 一ヶ月 五〇〇円

※入講は随時承っております。

ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。

### 不動室内陣献花



## 大覚寺門跡推薦教室 いけばな 嵯峨御流

〔第10回〕

昨日まで余所に思ひし

あやめ 柳



納富貴甫挿花

今日我宿の妻と見るかな  
といへる古歌のころに依れるものとぞ 又さる御方に  
結納をつかわされし時杜若を生られしかばある人紫にては如何と御尋ねありしに  
紫の一本結のかほよ花  
色さへ香さへ名さへ

なつかし  
此歌によりて生けたりしと  
御答ありしとぞ云ふ

杜若を一色生けるなり尤も  
是等の花なき時は何にても  
目出度ものを生るべし

を紫色の杜若で表現しています。紫の色は（さめやすい色で長続きしないという意味から）避けるものではなく、と尋ねられ、花嫁の鬘の根を結う高貴な色とされる紫の元結と重ね合わせて結納の席に杜若をいけた、と答えています。  
家中にある美しい縁女の奥ゆかしい情景を、嵯峨御流生花「七曲」の一つ「内用」の花姿に織り込んで、花一輪を「体」の後ろからそつと覗かせて奥ゆかしさを持たせて挿け上げています。

嵯峨御流華道芸術学院教授

納富貴甫

## 御◆案◆内

### 交通安全祈願

午前九時～午後四時半  
午後四時半までにお申込下さい。

### 御護摩修行

- 平日 八時・十時・十一時半・一時・三時
- 土曜・日曜・祝日 八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時
- 但し二日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半
- ご縁日（二十八日） 五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時
- 御護摩料 金五、〇〇〇円也 金七、〇〇〇円也 金一五、〇〇〇円也

### 編集室だより




大日堂 鳴り龍・襖絵拝観  
午前九時～午後四時  
参拝料 三〇〇円  
（月曜休館）  
尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。




新客殿の名称が決まりました（P2）。ナフサ関連製品、照明設備のLED化、エアコンの省エネ基準等々かけ込み需要の影響、建設費の高騰や工事の遅延が心配です。境内も少しづつあじさいの開花が始まりましたが昨今の高温で花の付きが気に掛かります。今夏は全国的に平年より高い猛暑（猛暑記以上、酷暑記以上）の報道があり熱中症対策が叫ばれています。濃あじさい塔への径もその奥も 祐勝  
深緑の境内で夏の植物（P9）など探してみても如何でしょう。

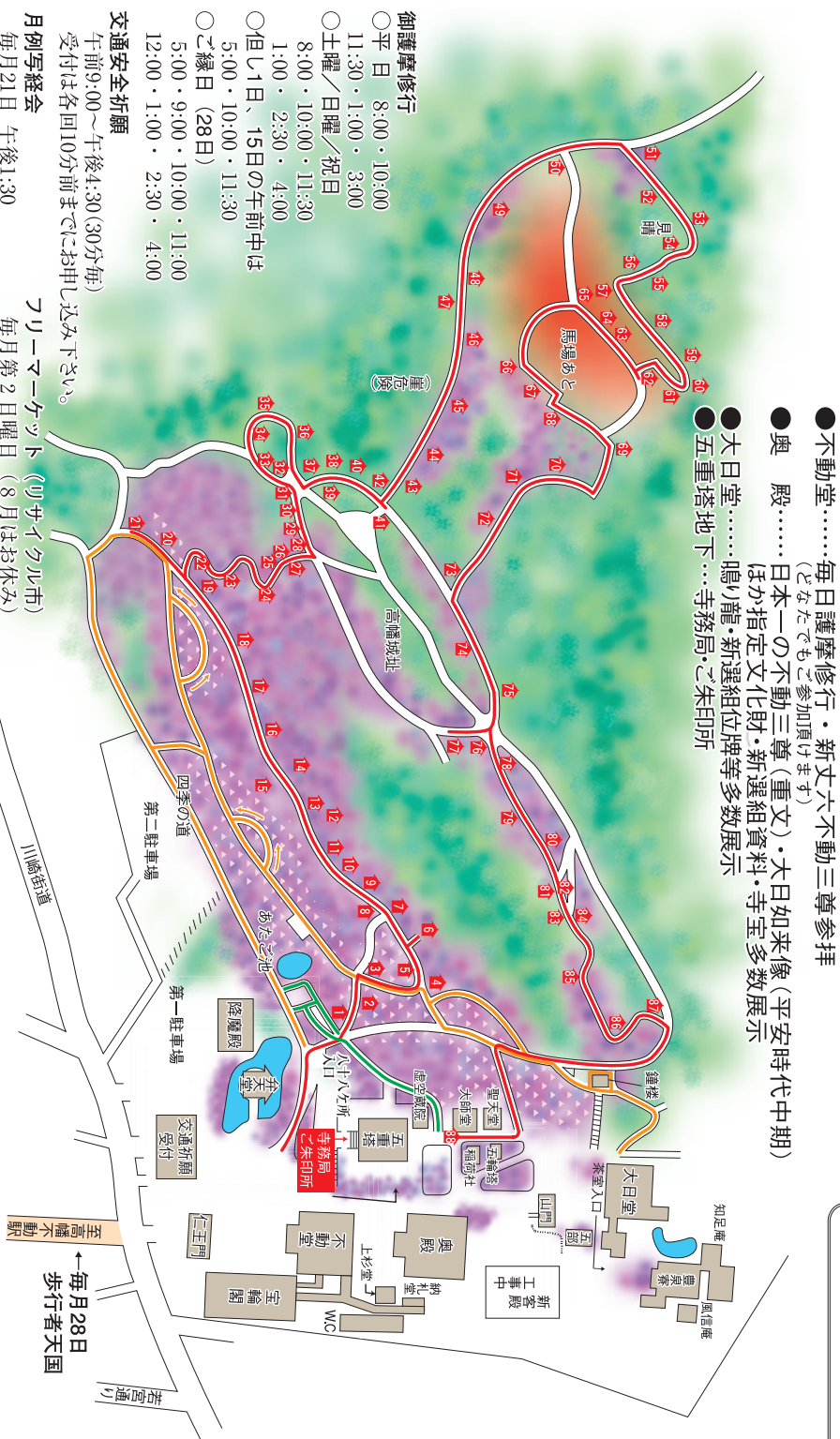
発行所  
〒191-0031 東京都日野市高幡733  
別格本山  
高幡山金剛寺  
電話 (042) 591-0032(代)  
FAX (042) 593-3038  
発行人 黒川 高徳  
編集人  
年4回発行・再生紙使用

# 高幡不動尊境内略地図

## 山内八十八ヶ所とあじさいマップ

 可憐な山あじさい (6月上旬・中旬)  
 あじさい、かくあじさい (6月中旬・下旬)  
 彼岸花 (9月中旬・下旬)

 山内八十八ヶ所巡拝路  
 四季のみち  
 あじさいのみち



- 不動堂……毎日護摩修行・新文六不動三尊参拝 (どなたでもご参加頂けます)
- 奥 殿……日本一の不動三尊(重文)・大日如来像(平安時代中期)ほか指定文化財・新選組資料・寺宝多数展示
- 大日堂……鳴り龍・新選組位牌等多数展示
- 五重塔地下……寺務局・朱印所

- 御護摩修行**
- 平日 8:00・10:00
  - 11:30・1:00・3:00
  - 土曜/日曜/祝日
  - 8:00・10:00・11:30
  - 1:00・2:30・4:00
  - 但し1日、15日の午前中は
  - 5:00・10:00・11:30
  - ご縁日 (28日)
  - 5:00・9:00・10:00・11:00
  - 12:00・1:00・2:30・4:00
- 交通安全折願**
- 午前9:00～午後4:30(30分毎)  
受付は各回10分前まで(お申し込み下さい)
- 月例写経会**
- 毎月21日 午後1:30
- 千体地藏尊月例法要**
- 毎月24日 午後2:00

フリースペース (リサイクル市)  
 毎月第2日曜日 (8月はお休み)  
 ござれ市 (からくた市)  
 毎月第3日曜日

別格本山  
**高幡山金剛寺**  
 〒191-0031 東京都日野市高幡733  
 電話 (042) 591-0032(代)  
 FAX (042) 593-3038

